

広域機関システムでの整合性自動チェックについて

<主なポイント>

- ・ 広域機関システムが受領した各種計画については、計画値の整合性等をシステムで自動チェックし、エラー検出時はメールやエラー箇所を特定する不整合結果通知 X M L ファイル等で通知をいたします。
 - ・ 自動チェックでは、「ファイル形式異常」^(※1)、「データ項目異常」^(※2)、「計画内不整合」^(※3)及び「計画間不整合」^(※4)の確認を実施します。**今回、データ項目異常、計画内不整合、計画間不整合のチェック項目の追加を行います。**
- ※1：「ファイル形式異常」とは、指定形式(X M L ファイル)でアップロードされていない等の異常を言います。「ファイル形式異常」を検出した場合は、当該 X M L ファイル全体が不受理となりますので、速やかに計画を修正の上、再提出をお願いします。
- ※2：「データ項目異常」とは、提出した X M L ファイル内における以下の異常を言います。「データ項目異常」を検出した場合は、当該 X M L ファイル全体が不受理となりますので、速やかに計画を修正の上、再提出をお願いします。
- ・ BP 標準規格上の必須項目が入力されていない
 - ・ データ項目の型式（全角、半角など）や桁数が BP 標準規格を違反している
 - ・ （その他詳細は補足説明資料参照）
- ※3：「計画内不整合」とは、提出した X M L ファイル内における以下の不整合を言います。「計画内不整合」を検出した場合は、当該 X M L ファイル全体が不受理となりますので、速やかに計画を修正の上、再提出をお願いします。
- ・ 計画の対象年月日又は対象期間開始年月日と計画提出可能期間との不整合
 - ・ 各種コード番号（以下「コード」といいます。）と各種マスターに入力されているコードとの不整合
 - ・ 計画値に関する不整合（例：発電計画 BG 計≠ΣBG 内の発電計画）
計画値の不整合には、発電販売計画での「発電計画 + 調達計画≠販売計画」及び
需要調達計画での「需要計画 + 販売計画≠調達計画」（計画内不一致）は、含みません。
連系線利用計画の計画値に関する不整合は、不整合が検出された申込番号毎の計画が不受理となります。
- ※4：「計画間不整合」とは、提出した X M L ファイルと関連する他の X M L ファイルとの不整合を言います。「計画間不整合」を検出した場合は、計画は不受理とはせず、システムへ登録を行います。速やかに関係取引先と計画値の確認・調整をして頂き、必要な計画の修正及び再提出をお願いします。なお、ゲートクローズまでに計画間不整合が解消されない場合は、計画間不整合がある状態で最終計画値として登録され、その後の計画間整合性チェックの対象外となります。
- ・ 今回の自動チェックの機能拡張の主な内容は以下です。
 - (1) 市場取引結果とのチェック項目追加
市場取引結果との計画間整合性チェックを行います。今回より、変更断面でもチェックを実施します。
 - (2) 発電計画のチェック項目追加
発電計画について、計画間整合性チェックとして、
地内潮流制約および同時最大受電電力のチェックを行います。
 - (3) データ項目異常・計画内データ異常についてのチェック項目追加
従来の必須項目のチェックに加え、データ項目の型式（全角・半角等）や桁数のチェック、
ファイル名と提出事業者のチェック、日付のチェック、エリアコードのチェックなどを実施します。
 - (4) 翌日策定時のエリア間取引のチェック動作変更
翌日策定時の計画間整合性チェックの際に、容量登録値とチェックを行います。

- ・計画内整合性チェック及び計画間整合性チェックの詳細内容については、「発電計画等受領業務ビジネスプロトコル 標準規格（計画値同時同量編）記載要領（※5）」の「5. 計画の整合性確認について」をご確認下さい。

※5：広域機関 HP（広域機関システムでの計画提出について→計画作成・提出→2.記載要領）

http://www.occto.or.jp/jigyosha/kouikikikansys_information/2016-0204-kouikisysteminformation.html

- ・以上を纏めると以下の表の通りです。

		整合性自動チェック			(参考) 注意喚起メール
		年間～週間計画	翌日計画	当日計画	
ファイル形式異常		○	○	○	—
データ 項目異常	必須項目の有無、型式、桁数異常	○	○	○	—
	追加チェック※1	○	○	○	—
計画内 不整合	計画提出可能期間外エラー	○	○	○	—
	マスターとの不整合	○※2	○※3	○※3	—
	ファイル内の計画値不整合	—	○	○※2	—
計画間 不整合	販売計画と調達計画間	—	○	○※4	○
	連系線利用計画と販売・調達計画間	—	○※5	○※4	○
	市場取引結果と販売・調達計画間	—	○	○※4	○
	発電計画(地内潮流制約、同時最大受電電力)※6	○	○	○※4	—
計画内不一致（調達過不足、供給過不足）		—	—	—	○

今回追加・変更する自動チェック

※1：データ項目異常のチェック項目追加分。詳細は補足説明資料参照。

※2：連系線利用計画のみチェックを実施。

※3：需要調達計画の取引所取引、エリア内取引における申込番号のチェックを追加。（実需発電計画も同様）

※4：ゲートクローズ前の時間帯のみチェック・通知の対象。

※5：翌日策定時のエリア間取引は、容量登録値とのチェックに変更。

※6：詳細は補足説明資料参照。

1. 概要

広域機関システムで実施する各種計画に対するエラーチェック（自動チェック）の種類及びエラー通知方法等は下表のとおりです（現状の運用方法であり、今後変更することがあります。）。

なお、エラーチェックは、下表の 1 から 4 の順に行い、エラーを検知したときは Web 画面表示、メール通知及び不整合結果通知 X M L ファイルの提供などを行います。

チェック		チェック内容	エラー時 Web 画面	エラー時 メール通知内容	エラー時 メール通知タイミング※1	エラー時 不整合結果通知 X M L ファイル※2	エラー時 システム登録	備考
1	ファイル形式 異常チェック	指定形式(X M L ファイル)で アップロードされているか等	受付エラー	なし	なし	×	×	
2	データ項目 異常チェック	BP 標準規格上の必須項目 が入力されているか等	提出エラー	計画内のデータ異常通知※3 (X M L エラー)	エラーの都度	×	×	今回チェック項目追加
3	計画内整合 性チェック	提出期限に間に合っているか	提出エラー	計画内のデータ異常通知※3 (計画提出可能期間外エラー)	エラーの都度	×	×	
		コード類がマスターに登録され ているか		計画内のデータ異常通知※3 (マスターとの不整合)		×	×	今回チェック項目追加 (申込番号のチェック)
		ファイル内の計画値に不整合 が無い		計画内のデータ異常通知※3 (ファイル内の計画値不整合)		○	×	
4	計画間整合 性チェック	ファイル間の計画値に不整合 が無い	提出済み	計画間の不整合通知	翌日計画：前日 17 時頃※4 当日計画：10 分毎定期※5、6	○	○	今回チェック項目を追加 ・市場取引結果とのチェック ・発電計画のチェック ・容量登録値とのチェック

※1：エラー時のメール通知を受領した場合は、エラーとなっている発電販売計画、需要調達計画等は、速やかに再提出してください。

※2：発電販売計画及び需要調達計画に対して X M L ファイルを提供します。

※3：メール件名が同一で、本文内に括弧の中身の記載があります。

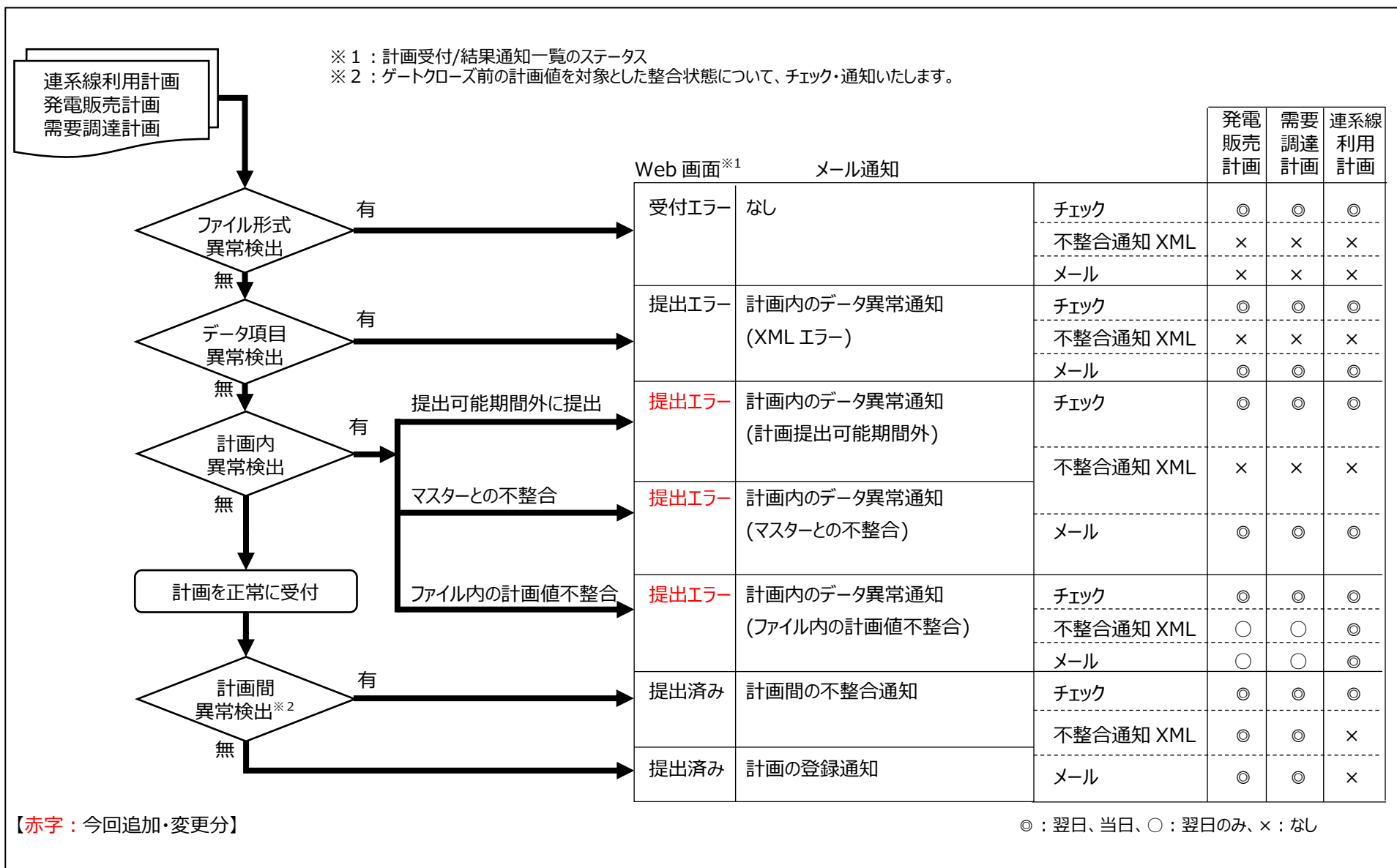
※4：市場取引結果（スポット市場）に関連する計画・記載の有無に対するチェックは前日 14 時頃に行います。

※5：10 分周期で定期的に監視し、当該周期内に整合性チェックを実施した場合に、チェック結果を通知します。

※6：市場取引結果（時間前市場）に関連する計画・記載の有無に対するチェックは、約定コマの 2 時間前頃に行います。

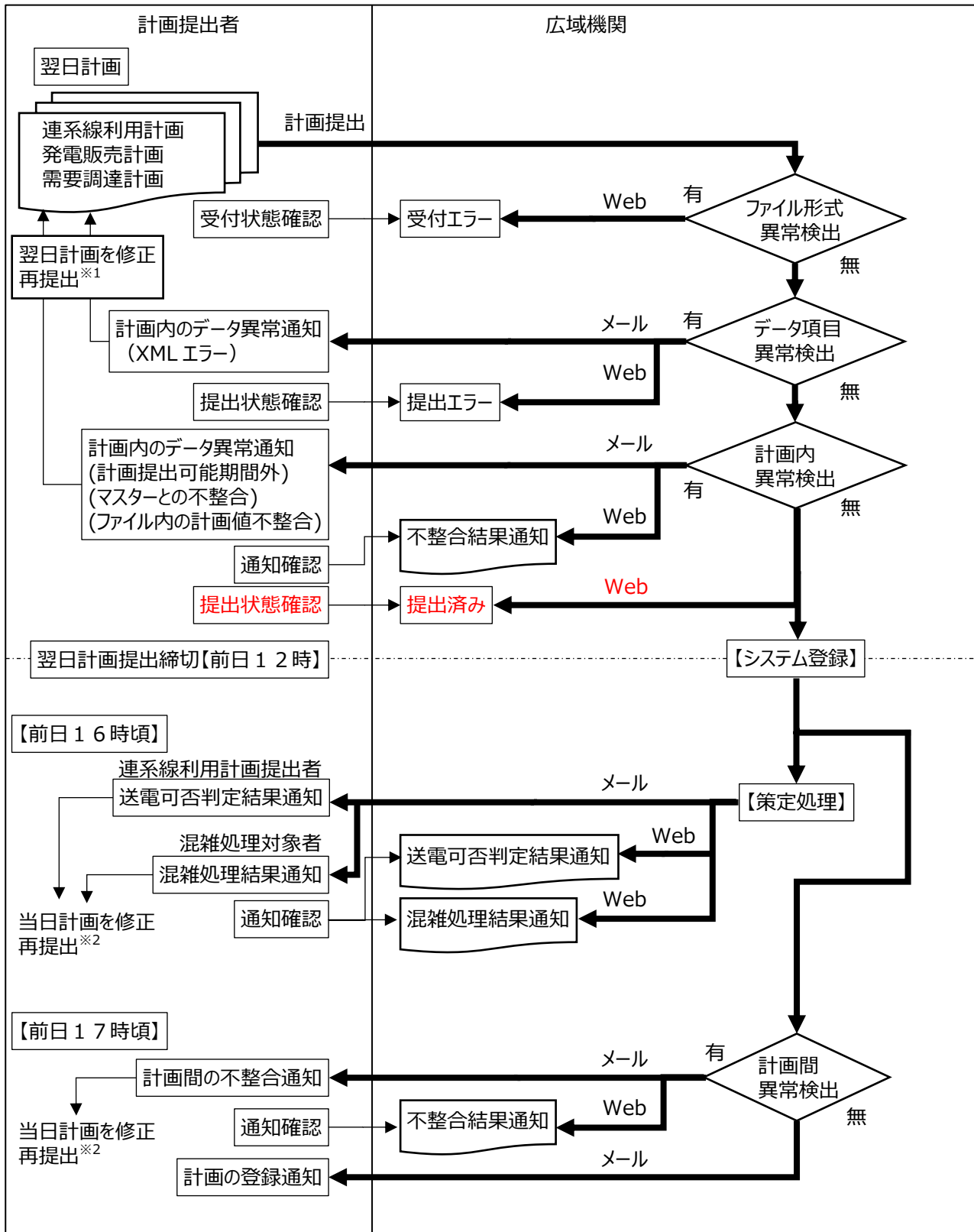
また、市場取引結果（時間前市場）に関連する計画値に関するチェックについても、当日計画提出時のチェックに加え、約定コマの 2 時間前頃にチェックを行います。

今回追加・変更する自動チェック



2. フロー（一日の流れ）

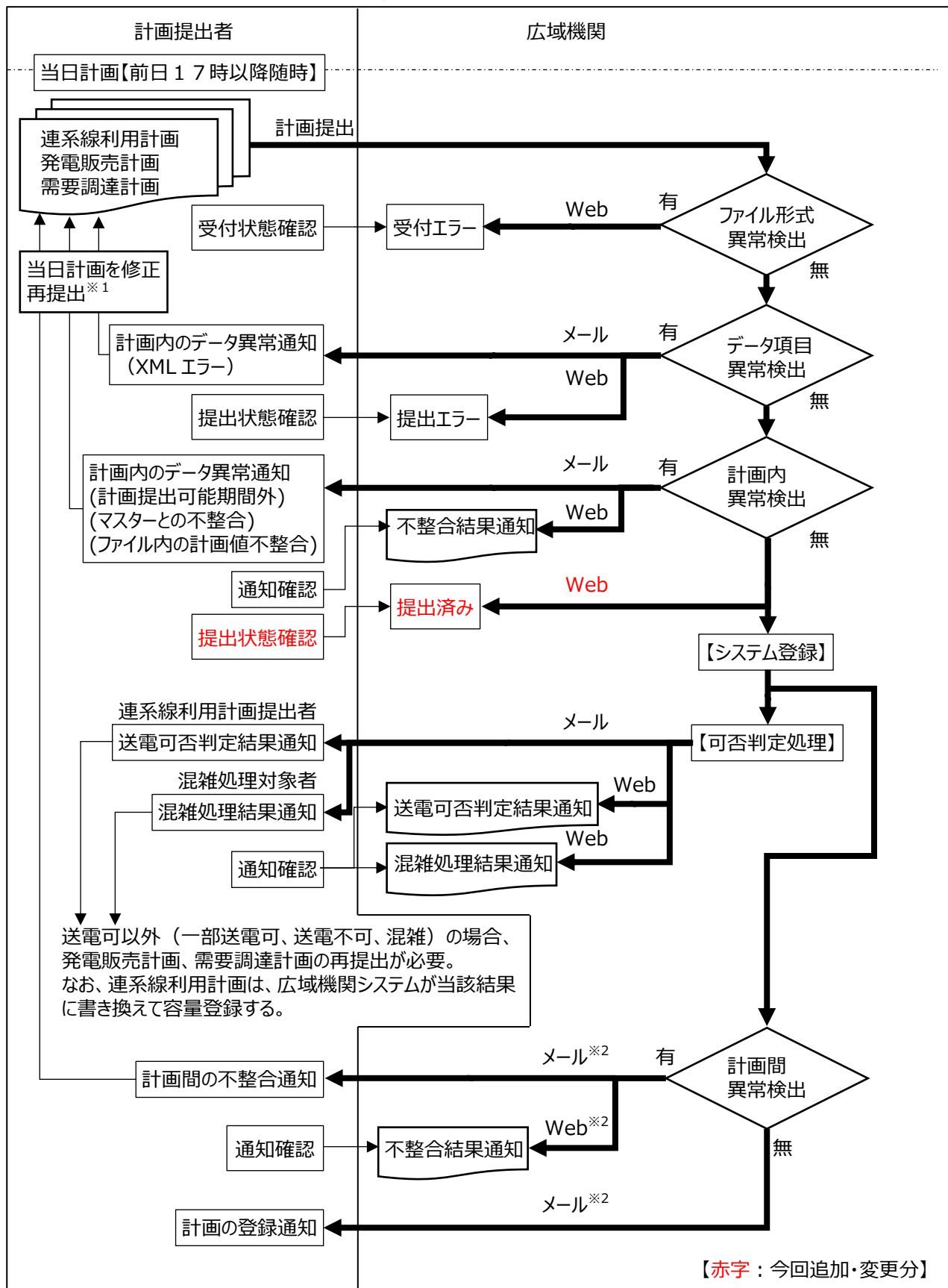
翌日計画（提出時の計画内容に対するチェック）



※1 不整合となっている発電販売計画、需要調達計画等は、前日 1 2 時まで修正した計画を再提出してください。

※2 不整合となっている発電販売計画、需要調達計画等は、計画変更の受付開始後、速やかに再提出してください。提出締切時間はゲートクローズまでとなります。

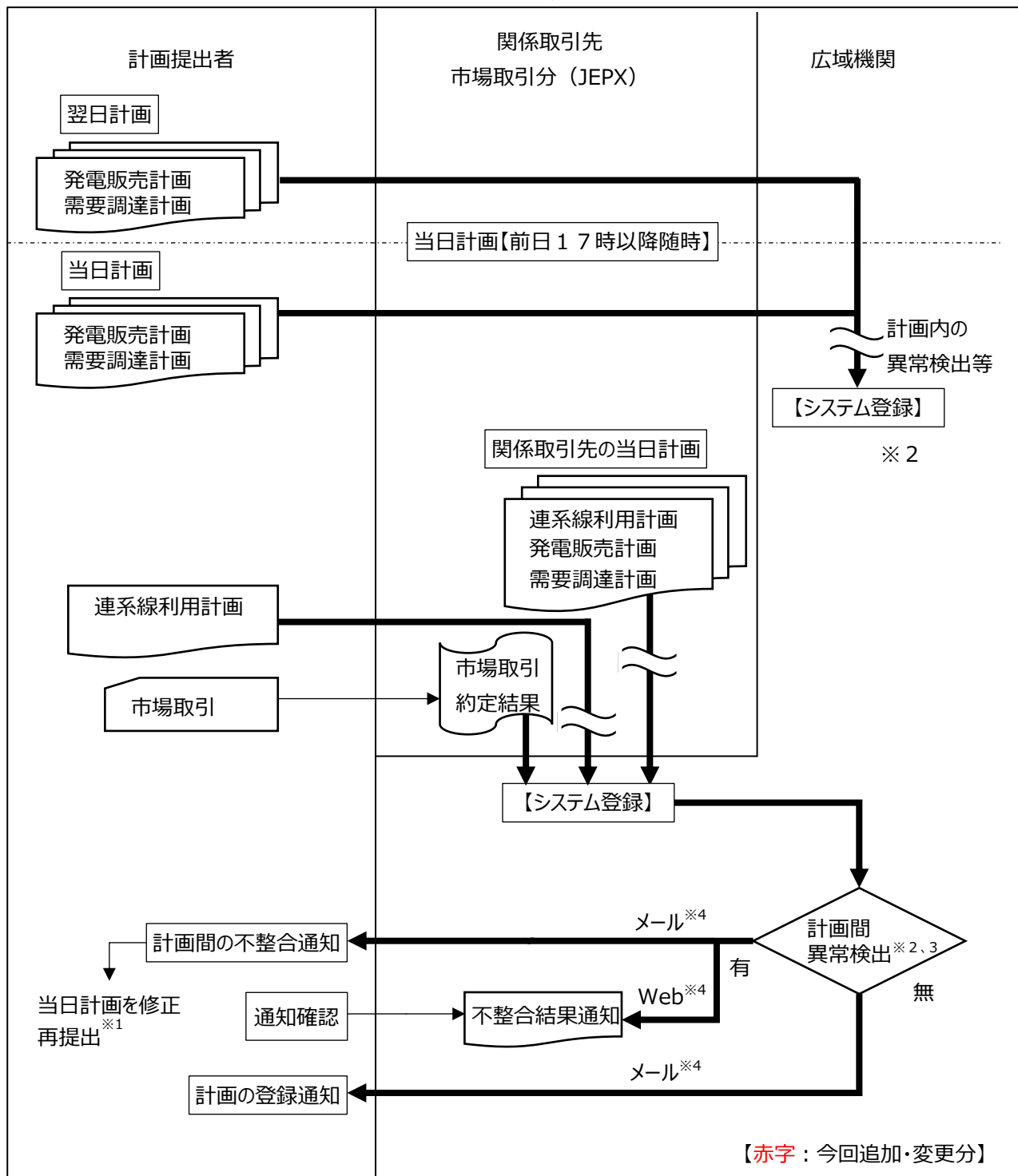
当日計画（提出時の計画内容に対するチェック）



※ 1 不整合となっている発電販売計画、需要調達計画等は、速やかに再提出してください。提出締切時間はゲートクローズまでとなります。

※ 2 10 分周期で定期的に監視し、当該周期内に整合性チェックを実施した場合に、チェック結果を通知します。

当日計画・翌日計画（提出後のシステム登録値に対するチェック）



※ 1 不整合となっている発電販売計画、需要調達計画等は、速やかに再提出してください。提出締切時間はゲートクローズまでとなります。

※ 2 予めシステム登録済みの計画値に対して、関係する状況変化が発生した場合にチェックを行います。

※ 3 市場取引結果（スポット市場）に関連する計画・記載の有無及び計画値のチェックは、前日 14 時頃に行います。
市場取引結果（時間前市場）に関連する計画・記載の有無及び計画値のチェックは、約定コマの 2 時間前頃に行います。

※ 4 10 分周期で定期的に監視し、当該周期内に整合性チェックを実施した場合に、チェック結果を通知します。

3. メール通知文

3. 1. 計画内のデータ異常、計画間の不整合通知、計画の登録通知メール

件名
内容
【広域機関】計画内のデータ異常通知（[計画名]）『計画修正・提出依頼』 提出いただいた以下の計画は、計画内のデータに異常があるまたは計画提出可能期間外のため、システムに登録されませんでした。 計画を修正または計画提出可能期間を確認のうえ、再提出してください。 なお、 ・翌日発電・販売計画、翌日需要・調達計画及び翌日連系線利用計画のファイル内における計画値の不整合の場合、広域機関システムの「計画不整合通知メッセージ」により不整合箇所をご確認いただけます。 ・計画名：[計画名] [ファイル名] [計画受付時刻] ・異常箇所：[異常箇所]
【広域機関】計画間の不整合通知（[計画名]）『計画確認・提出依頼』 提出いただいた以下の計画と、関係する他の計画との間に不整合があります。 取引先などの関係箇所にご確認のうえ、不整合を引き起こした計画提出者側は、計画を再提出し不整合を解消してください。 翌日発電・販売計画及び翌日需要・調達計画の不整合箇所は、広域機関システムの「計画不整合通知メッセージ」によりご確認ください。 （当日計画の場合は、以下の記載を追記） 計画提出タイミング、広域機関システムの混雑状況によっては通知が締切後になる事がございます。お早目のご提出をお願いいたします。 ・計画名：[計画名] [ファイル名] [計画受付時刻]
【広域機関】計画の登録通知（[計画名]）※ 提出いただいた以下の計画は、システムに登録を完了しました。 なお、送電可否判定結果等により、計画の再提出を依頼することがありますので、ご承知おきください。 （当日計画の場合は、以下の記載を追記） 計画間整合性のチェックは、ゲートクローズしていない計画値のみが対象となります。 ・計画名：[計画名] [ファイル名] [計画受付時刻]

[計画名]：翌日発電・販売計画、翌日需要・調達計画など

[ファイル名]：W6_0150_20150101_00_XXXXX_X.xml など

[異常箇所]：XMLエラー、計画提出可能期間外の提出によるエラー、マスターとの不整合、
ファイル内における計画値の不整合

[計画受付時刻]：当該通知の元になる計画の受付時刻

※発電計画（実同時同量）で計画間整合性チェックが働かなかったファイルについては、当該メールは通知されません。

【赤字：今回追加・変更分】

3. 2. 計画提出依頼（JEPX 約定分）、地内送電不可通知

件名
内容
【広域機関】計画提出依頼（[計画名]）『JEPX 約定分』 JEPX から以下の約定の通知がありましたが、関連する計画提出あるいは取引の記載が確認できませんでした。 当該取引内容を記載のうえ、計画提出をお願いします。 ・取引区分：[取引市場] [買電/売電] [受渡日] ・約定者：[約定者の BG/計画提出者コード]
【広域機関】地内送電不可通知（[計画名]） 提出いただいた以下の計画は、当該エリア地内潮流制約を確認した結果、『地内送電不可』となりました。 当該エリアの一般送配電事業者の確認のうえ、計画の修正及び再提出をしてください。 ・計画名：[計画名] [ファイル名] [計画受付時刻]

[取引市場]：スポット市場、時間前市場

[買電/売電]：買電、売電

[受渡日]：4 月 1 日分 02 コマ など。コマ表示は時間前市場のみ。

[約定者]：当該約定の契約者（BG/計画提出者コード）

[計画名]：翌日発電・販売計画_変更 など

[ファイル名]：W6_0150_20150101_00_XXXXX_X.xml など

[計画受付時刻]：当該通知の元になる計画の受付時刻

【赤字：今回追加・変更分】

4. 不整合結果通知 X M L ファイルの提供

不整合結果通知 X M L ファイルは、広域機関システムの「計画受付／結果通知一覧」画面の「計画／結果通知詳細」からダウンロードできます。

入力支援ツールの「通知 X M L 読込」ボタンで X M L ファイルを読み込むことでエラー内容が確認できます。

計画受付／結果通知一覧				
検索結果				
確認	送受信日時	ステータス	計画／結果通知詳細	業務種別
	対象期間開始年月日	詳細ステータス	エラー詳細	計画／結果通知情報
		結果通知確認OK	ダウンロード	同時同量計画
	2016/07/			(翌日) 発電販売計画 (不整合)
		結果通知確認OK	ダウンロード	同時同量計画
	2016/07/			(翌日) 需要調達計画 (不整合)

4. 1. 計画内のデータ異常通知（ファイル内における計画値不整合）メールの場合

ファイル内における計画値不整合は、不整合のあった計画を提出した計画提出者に対してエラー通知及び不整合結果通知 X M L ファイルを提供します。

下表は、各計画における不整合の通知箇所とその不整合理由をまとめたものです。次項目以降で詳細を説明します。

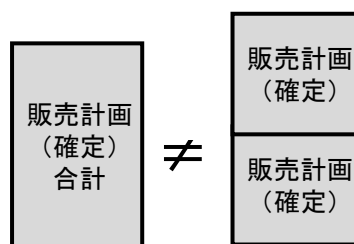
計画名	不整合通知箇所	不整合理由	項番
発電 販売 計画	販売計画(確定)合計の 「変更」に「不整」を表示	販売計画(確定)合計と Σ販売計画(確定)の不整合	(1)
	発電計画合計の 「変更」に「不整」を表示	発電計画合計と Σ発電計画の不整合	(2)
	調達計画(確定)合計の 「変更」に「不整」を表示	調達計画(確定)合計と Σ調達計画(確定)の不整合	(3)
	発電計画 BG 計の 「変更」に「不整」を表示	発電計画 BG 計と Σ(当該 BG 内の)発電計画の不整合	(4)
	発電計画内訳の 「変更」に「不整」を表示	発電上限 ≥ 発電計画 ≥ 発電下限 の関係式の不整合	(5)
需要 調達 計画	需要計画の 「変更」に「不整」を表示	(需要 BG の)需要計画と Σ(小売電気事業者の)需要計画の不整合	(6)
	販売計画 (確定) 合計の 「変更」に「不整」を表示	(需要 BG の)販売計画(確定)合計と Σ(需要 BG の)販売計画(確定)の不整合	(7)
	調達計画 (確定) 合計の 「変更」に「不整」を表示	(需要 BG の)調達計画(確定)合計と Σ(需要 BG の)調達計画(確定)の不整合	(8)
連系線 利用 計画	連系線利用計画の 「計画変更理由」に「広域機	計画値(変更後) ≥ マージン利用 + マージン使用 + 運用容量拡大 の関係式の不整合	(9)
	関指示」を表示	計画値 (変更後 30 分値) = 計画値 (変更後 5 分値) × 6 コマ分 の関係式の不整合	(10)

以下の不整合の可能性があります。「不整合」となった箇所を確認し、計画を修正の上、再提出して下さい。

(1) 発電販売計画の販売計画(確定)合計に「不整合」

➡ 販売計画(確定)合計とΣ販売計画(確定)の不整合

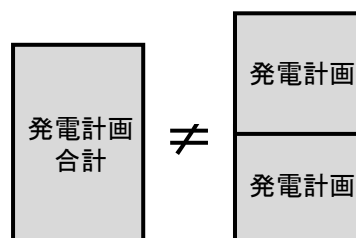
		販売計画(確定) 合計	
※		▲	不整合
#	時間帯	販売計画(確定) 合計(kWh)	変更▲
1	0:00~0:30	1,000	
2	0:30~1:00	1,000	不整合
3	1:00~1:30	1,000	不整合



※計画が一致しない時間帯の変更▲にのみ「不整合」を通知 → #2, #3 が不整合。合計値を一致させて再提出。

(2) 発電販売計画の発電計画合計に「不整合」 ➡ 発電計画合計とΣ発電計画の不整合

		発電計画 合計	
※		▲	不整合
#	時間帯	発電計画 合計(kWh)	変更▲
1	0:00~0:30	1,000	
2	0:30~1:00	1,000	不整合
3	1:00~1:30	1,000	不整合

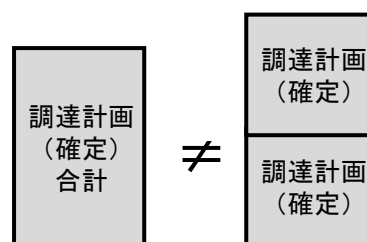


※計画が一致しない時間帯の変更▲にのみ「不整合」を通知 → #2, #3 が不整合。合計値を一致させて再提出。

(3) 発電販売計画の調達計画(確定)合計に「不整合」

➡ 調達計画(確定)合計とΣ調達計画(確定)の不整合

		調達計画(確定) 合計	
※		▲	不整合
#	時間帯	調達計画(確定) 合計(kWh)	変更▲
1	0:00~0:30	1,000	
2	0:30~1:00	1,000	不整合
3	1:00~1:30	1,000	不整合

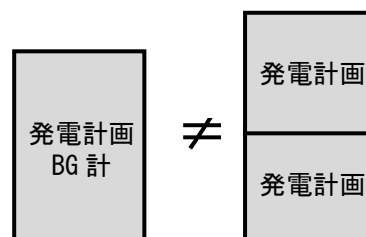


※計画が一致しない時間帯の変更▲にのみ「不整合」を通知 → #2, #3 が不整合。合計値を一致させて再提出。

(4) 発電販売計画の発電計画 BG 計に「不整合」

➡ 発電計画 BG 計とΣ(当該 BG 内の)発電計画の不整合

		発電計画 発電BG No.1	
		発電BGコード	
		発電計画 BG計	
※		▲	不整合
#	時間帯	発電計画 BG計(kWh)	変更▲
1	0:00~0:30	1,000	
2	0:30~1:00	1,000	不整合
3	1:00~1:30	1,000	不整合



※計画が一致しない時間帯の変更▲にのみ「不整合」を通知 → #2, #3 が不整合。合計値を一致させて再提出。

(5) 発電販売計画の発電計画内訳に「不整」 → 発電上限 ≥ 発電計画 ≥ 発電下限 の関係式の不整合

		発電計画 内訳 No.1			
※					不整
#	時間帯	発電計画 (kWh)	発電上限 (kWh)	発電下限 (kWh)	変更▲
1	0:00~0:30	1,000	500	1,000	不整
2	0:30~1:00	1,000	1,000	1,200	不整
3	1:00~1:30	1,000	1,000	1,000	

発電計画
上限

≠

発電計画

≠

発電計画
下限

※計画が一致しない時間帯の変更▲にのみ「不整」を通知

→ #1 は発電上限と発電計画の不整合。#2 は発電下限と発電計画の不整合。修正し再提出。

(6) 需要調達計画の需要計画に「不整」

→ (需要 BG の)需要計画とΣ(小売電気事業者の)需要計画の不整合

		需要計画	
※		▲	不整
#	時間帯	需要計画 (kWh)	変更▲
1	0:00~0:30	1,000	
2	0:30~1:00	1,000	不整
3	1:00~1:30	1,000	不整

(需要 BG)
需要計画

≠

(小売)
需要計画

(小売)
需要計画

※計画が一致しない時間帯の変更▲にのみ「不整」を通知 → #2, #3 が不整合。合計値を一致させて再提出。

(7) 需要調達計画の販売計画(確定)合計に「不整」

→ (需要 BG の)販売計画(確定)合計とΣ(需要 BG の)販売計画(確定)の不整合

		販売計画(確定) 合計	
※		▲	不整
#	時間帯	販売計画(確定) 合計(kWh)	変更▲
1	0:00~0:30	1,000	
2	0:30~1:00	1,000	不整
3	1:00~1:30	1,000	不整

(需要 BG)
販売計画
(確定)
合計

≠

(需要 BG)
販売計画
(確定)

(需要 BG)
販売計画
(確定)

※計画が一致しない時間帯の変更▲にのみ「不整」を通知 → #2, #3 が不整合。合計値を一致させて再提出。

(8) 需要調達計画の調達計画(確定)合計に「不整」

→ (需要 BG の)調達計画(確定)合計とΣ(需要 BG の)調達計画(確定)の不整合

		調達計画(確定) 合計	
※		▲	不整
#	時間帯	調達計画(確定) 合計(kWh)	変更▲
1	0:00~0:30	1,000	
2	0:30~1:00	1,000	不整
3	1:00~1:30	1,000	不整

(需要 BG)
調達計画
(確定)
合計

≠

(需要 BG)
調達計画
(確定)

(需要 BG)
調達計画
(確定)

※計画が一致しない時間帯の変更▲にのみ「不整」を通知 → #2, #3 が不整合。合計値を一致させて再提出。

(9) 連系線利用計画の計画変更理由に「広域機関指示」

➡ 計画値（変更後）≧マージン利用+マージン使用+運用容量拡大 の関係式の不整合

連系線利用計画						
#	時間帯	変更前 (kWh)※	変更後 (kWh)	増減 (kWh)※	計画変更理由	変更※
1	0:00～0:30		1,000			
2	0:30～1:00		1,000			
3	1:00～1:30		1,000		広域機関指示	不整

連系線利用計画の内数(マージン利用等)						
		地域間連系線			東京中部間連系設備(FC)	
#	時間帯	マージン利用分		マージン使用分		運用容量拡大分
		マージン 利用(kWh)	変更▲	マージン 使用(kWh)	変更▲	運用容量 拡大(kWh)
1	0:00～0:30	0		100		0
2	0:30～1:00	500		100		0
3	1:00～1:30	1,000		100		0

計画値 (変更後)	マージン 利用
	マージン 使用
	運用容量 拡大

≠

※計画が一致しない時間帯の計画変更理由にのみ「広域機関指示」を通知

(入力支援ツールでは変更※も「不整」で表示)

→#3 が不整合。修正し再提出。

(1 0) 連系線利用計画の計画変更理由に「広域機関指示」

➡ 計画値（変更後 30 分値）= 計画値（変更後 5 分値）×6 コマ分 の関係式の不整合

連系線利用計画						
#	時間帯	変更前 (kWh)※	変更後 (kWh)	増減 (kWh)※	計画変更理由	変更※
1	0:00～0:30		1,000			
2	0:30～1:00		1,000		広域機関指示	不整

連系線利用計画(5分値)						
#	時間帯	変更前 (kW)※	変更後 (kW)	増減 (kW)※	#	時間帯
1	0:00～0:05		2,000		7	0:30～0:35
2	0:05～0:10		2,000		8	0:35～0:40
3	0:10～0:15		2,000		9	0:40～0:45
4	0:15～0:20		2,000		10	0:45～0:50
5	0:20～0:25		2,000		11	0:50～0:55
6	0:25～0:30		2,000		12	0:55～1:00

計画値 (変更後 30 分値)	計画値 (変更後 5 分値) × 6
-----------------------	-----------------------------

≠

※計画が一致しない時間帯の計画変更理由にのみ「広域機関指示」を通知

(入力支援ツールでは変更※も「不整」で表示)

→#2 が不整合。5 分値が正なら、30 分値を 900 に修正し再提出。

[連系線利用計画(30 分値)]変更後(kWh)×2 = Σ[5 分値の 6 コマ分]変更後(kW)÷6

4. 2. 計画間の不整合通知メールの場合

計画間の不整合は、販売先及び調達先が計画を提出した場合、双方の事業者に対してエラーを通知します。不整合の原因がどちらの事業者なのかは広域機関システムでは判定できないため、取引先と連携して不整合を解消してください。なお、誤った計画（一方）を修正の上、再提出することで、双方の不整合は解消されます。

下表は、各計画における不整合の通知箇所及び不整合理由をまとめたものです。次項目以降で詳細を説明します。

計画名	不整合通知箇所	不整合理由	項番
発電 販売 計画 又は 需要 調達 計画	販売計画内訳又は調達計画内訳のすべての「変更」に「不整」を表示	・販売計画又は調達計画の相手先の未提出	(1)
		・販売計画又は調達計画の取引先コードの誤記※	(2)
		・販売計画又は調達計画のすべての計画値の誤記※	(3)
		・当該取引に対応する連系線利用計画が存在しない	(4)
		・連系線利用計画のすべての計画値（変更後）を誤記	(5)
		※市場取引(JEPX)分も含む	(6,7)
発電 販売 計画	販売計画内訳又は調達計画内訳の一部の「変更」に「不整」を表示	・販売計画又は調達計画の一部の計画値の誤記※	(8)
		・連系線利用計画の一部の計画値（変更後）を誤記	(9)
		※市場取引(JEPX)分も含む	(10)
発電 販売 計画	発電計画内訳の「変更」に「不整」を表示	・発電計画値を誤記	(11)
		・系統コードを誤記	(12)
		・発電所マスター登録時に同時最大受電電力を誤入力	(13)

以下の不整合の可能性があります。「不整」となった箇所を確認し、不整合を解消して下さい。

(1) 販売計画と調達計画間の不整合の場合で、相手先（B）が未提出（Aにのみエラー通知）

販売計画 販売(A)		
BG/計画提出者	G9999	
取引先コード	LA999	
取引先名▲	販売先(B)	
時間帯	販売計画 (確定)(kWh)	変更▲
0:00～0:30	500	不整
0:30～1:00	500	不整
1:00～1:30	500	不整

調達計画が
未提出

エラー通知

広域

G9999
販売 (A)

→ ?

調達 (B)

※全ての時間帯の変更▲に「不整」を通知 →取引相手(B)の計画の提出が必要

(2) 販売計画と調達計画間の不整合の場合で、B が取引先コードを誤記（A、Bにエラー通知）

販売計画 販売(A)			調達計画 調達(B)		
BG/計画提出者	G9999		LA999		
取引先コード	LA999		GZ999		
取引先名▲	販売先(B)		調達先(A)		
時間帯	販売計画 (確定)(kWh)	変更▲	調達計画 (確定)(kWh)	変更▲	
0:00～0:30	500	不整	500	不整	
0:30～1:00	500	不整	500	不整	
1:00～1:30	500	不整	500	不整	

エラー通知

広域

エラー通知

G9999
販売 (A)

?

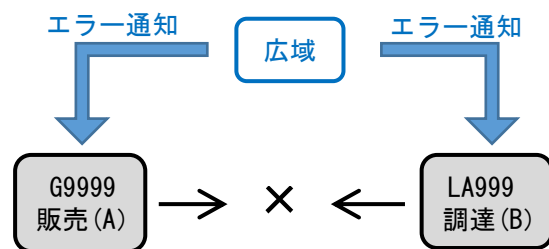
?

LA999
調達 (B)

※全ての時間帯の変更▲に「不整」を通知 →(B)の取引先コードを修正し再提出

(3) 販売計画と調達計画間の不整合の場合で、B が全ての計画値を誤記（A、B にエラー通知）

販売計画 販売(A)			調達計画 調達(B)		
BG/計画提出者	G9999		LA999		
取引先コード	LA999		G9999		
取引先名▲	販売先(B)		調達先(A)		
時間帯	販売計画 (確定)(kWh)	変更▲	調達計画 (確定)(kWh)	変更▲	
0:00~0:30	500	不整	600	不整	
0:30~1:00	500	不整	600	不整	
1:00~1:30	500	不整	600	不整	

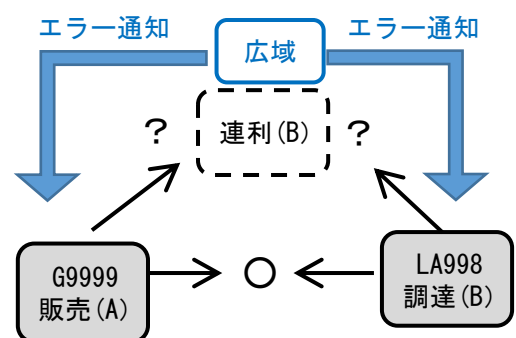


※計画が一致しない全ての時間帯の変更▲に「不整」を通知
→500kWh が正であれば、(B)の計画値を修正し再提出

(4) 当該取引に対応する連系線利用計画が存在しない（A、B にエラー通知）

販売計画 販売(A)			調達計画 調達(B)		
BG/計画提出者	G9999		LA998		
取引先コード	LA998		G9999		
取引先名▲	販売先(B)		調達先(A)		
時間帯	販売計画 (確定)(kWh)	変更▲	調達計画 (確定)(kWh)	変更▲	
0:00~0:30	500	不整	500	不整	
0:30~1:00	500	不整	500	不整	
1:00~1:30	500	不整	500	不整	

※全ての時間帯の変更▲に「不整」を通知
→当該取引に対応する連系線利用計画の提出が必要



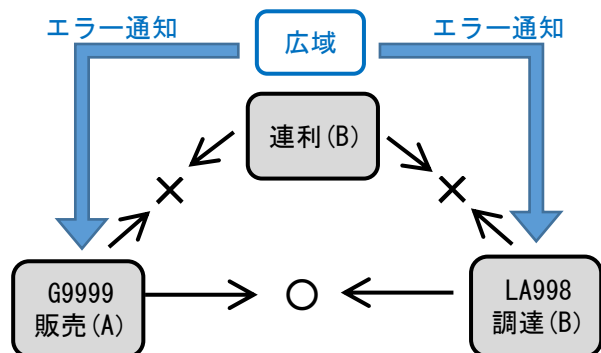
(5) 販売計画・調達計画と連系線利用計画間の不整合の場合で、
B が連系線利用計画の計画値をすべて誤記（A、B にエラー通知）

連系線利用計画	
時間帯	変更後
0:00～0:30	600
0:30～1:00	600
1:00～1:30	600

販売計画 販売(A)	
BG/計画提出者	G9999
取引先コード	LA998
取引先名▲	販売先 (B)
時間帯	販売計画 (確定)(kWh)
0:00～0:30	500
0:30～1:00	500
1:00～1:30	500

調達計画 調達(B)	
LA998	G9999
調達先 (A)	
調達計画 (確定)(kWh)	変更▲
500	不整
500	不整
500	不整

※計画が一致しない全ての時間帯の変更▲に「不整」を通知
→連系線利用計画を修正して再提出（連系線利用計画には通知しない）



【ポイント】

今回より、容量登録値と販売計画・調達計画の比較により計画間整合性を判定いたします。
送電可否判定などにより連系線利用計画提出内容と容量登録値に差が生じた場合は、ご注意ください。

【ポイント】

連系線利用計画に不整合があった場合でも連系線利用計画に対する通知は行わず、関連する需要調達計画又は発電販売計画のうち、不整合があるファイルを対象に通知します。連系線利用計画に誤りがある場合は、当該連系線利用計画の修正、再提出が必要です。

販売・調達間でエラーがなくとも、連系線利用計画に誤りがあると、連系線利用計画の提出者（受電側の調達（B））だけでなく提出者以外の販売側（販売（A））にもエラーが届くことがあります。

（６）販売計画・調達計画と市場取引間の不整合の場合で、A が取引先コードを誤記（A にエラー通知）

販売計画 販売(A)		
BG/計画提出者	G9999	
取引先コード	JSPT1	
取引先名▲	スポット取引	
時間帯	販売計画(確定) (kWh)	変更▲
0:00～0:30	500	不整
0:30～1:00	500	不整
1:00～1:30	500	不整

エラー通知

広域

以下が正しいコード
スポット：JSPT3
時間前：J1HR3

G9999
販売 (A)

取引所

※全ての時間帯の変更▲に「不整」を通知 →取引先コードを修正して再提出

（７）販売計画・調達計画と市場取引間の不整合の場合で、

A が計画値（約定量）をすべて誤記（A にエラー通知）

販売計画 販売(A)			約定量 (kWh)
時間帯	販売計画(確定) (kWh)	変更▲	
0:00～0:30	500	不整	1,000
0:30～1:00	500	不整	1,000
1:00～1:30	500	不整	1,000

エラー通知

広域

G9999
販売 (A)

取引所

※計画が一致しない全ての時間帯の変更▲に「不整」を通知 →計画値を修正して再提出

（８）販売計画と調達計画間の不整合の場合で、

B が「不整」の箇所に対応する計画値を誤記（A、B にエラー通知）

販売計画 販売(A)			調達計画 調達(B)		
BG/計画提出者	G9999		BG/計画提出者	LA999	
取引先コード	LA999		取引先コード	G9999	
取引先名▲	販売先(B)		取引先名▲	調達先(A)	
時間帯	販売計画 (確定)(kWh)	変更▲	時間帯	調達計画 (確定)(kWh)	変更▲
0:00～0:30	500		0:00～0:30	500	
0:30～1:00	500		0:30～1:00	500	
1:00～1:30	500	不整	1:00～1:30	600	不整

エラー通知

広域

エラー通知

G9999
販売 (A)

LA999
調達 (B)

※計画が一致しない時間帯の変更▲にのみ「不整」を通知

→500kWh が正であれば、(B)の計画値を修正し再提出

(9) 販売計画・調達計画と連系線利用計画間の不整合の場合で、

B が「不整」箇所に対応する連系線利用計画の計画値を誤記 (A、B にエラー通知)

連系線利用計画

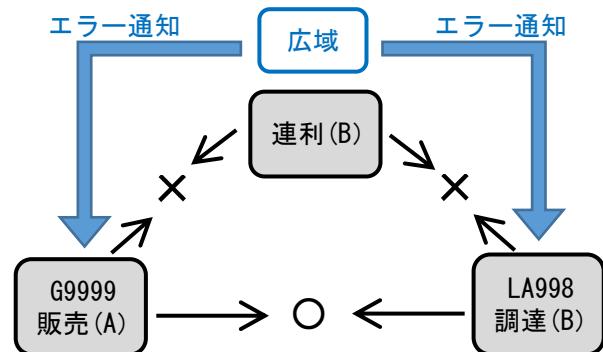
時間帯	変更後
0:00～0:30	500
0:30～1:00	500
1:00～1:30	600

販売計画 販売(A)

BG/計画提出者	G9999	
取引先コード	LA998	
取引先名▲	販売先(B)	
時間帯	販売計画(確定)(kWh)	変更▲
0:00～0:30	500	
0:30～1:00	500	
1:00～1:30	500	不整

調達計画 調達(B)

LA998	
G9999	
調達先(A)	
調達計画(確定)(kWh)	変更▲
500	
500	
500	不整



※計画が一致しない時間帯の変更▲にのみ「不整」を通知

→連系線利用計画を修正して再提出 (連系線利用計画には通知しない)

【ポイント】

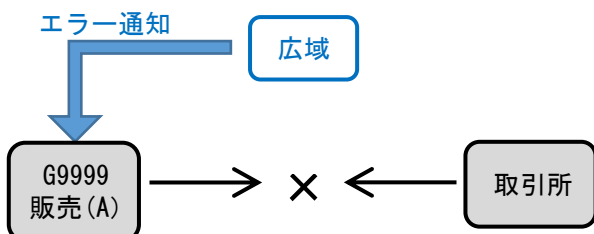
今回より、容量登録値と販売計画・調達計画の比較により計画間整合性を判定いたします。

送電可否判定などにより連系線利用計画提出内容と容量登録値に差が生じた場合は、ご注意ください。

(1 0) 販売計画・調達計画と市場取引間の不整合の場合で、

「不整」箇所の計画値 (約定量) を誤記 (A にエラー通知)

販売計画 販売(A)			
BG/計画提出者	G9999		
取引先コード	JSPT3		
取引先名▲	スポット取引		
時間帯	販売計画(確定)(kWh)	変更▲	約定量(kWh)
0:00~0:30	500		500
0:30~1:00	500		500
1:00~1:30	500	不整	1,000



※計画が一致しない時間帯の変更▲にのみ「不整」を通知 →計画値を修正して再提出

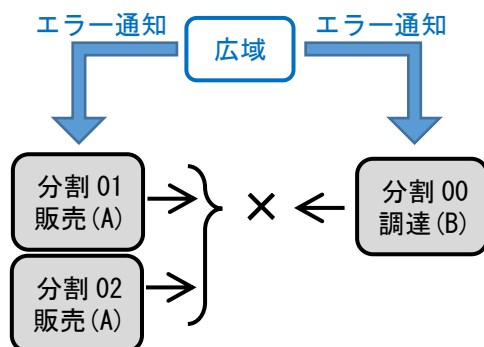
【ポイント】

従来は、市場取引結果との不整合検出時で、計画が複数のファイルに分割されている際にはすべての分割番号のファイルにエラー通知及び不整合結果通知 XML をお送りしておりましたが、今回の改修より、当該市場取引を記載したファイルのみを対象にエラー通知及び不整合結果通知 XML をお送りします。

補足説明

同一取引先の計画を複数のファイルに分割して提出し、計画値に不整合があった場合は、同一取引先を記載した全てのファイルにエラー通知します。

販売計画 販売(A)			販売計画 販売(A)			調達計画 調達(B)		
BG/計画提出者	G9999		G9999	G9999		LA999	LA999	
取引先コード	LA999		LA999	LA999		G9999	G9999	
取引先名▲	販売先(B)		販売先(B)	販売先(B)		調達先(A)	調達先(A)	
分割番号	01		02	02		00	00	
時間帯	販売計画 (確定)(kWh)	変更▲	販売計画 (確定)(kWh)	変更▲		調達計画 (確定)(kWh)	変更▲	
0:00~0:30	500		0			500		
0:30~1:00	250		250			500		
1:00~1:30	500	不整	250	不整		500	不整	



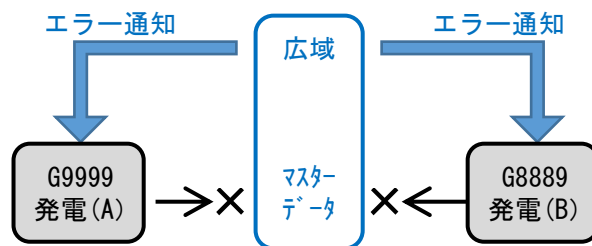
※計画が一致しない時間帯の変更▲にのみ「不整」を通知

→500kWh が正であれば、販売計画の計画値を修正して再提出

(11) 発電計画内訳に「不整」がついた場合で、発電計画値を誤記

(当該系統コードを記載した全てのファイルにエラー通知)

発電計画 内訳(A)			発電計画 内訳(B)		
BG/計画提出者	G9999		G8889	G8889	
系統コード	9Z999		9Z999	9Z999	
発電所名▲	OCCTO発電所		OCCTO発電所	OCCTO発電所	
時間帯	発電計画 (kWh)	変更▲	発電計画 (kWh)	変更▲	
0:00~0:30	1,000		0		
0:30~1:00	1,000		0		
1:00~1:30	10,000	不整	0	不整	



→発電計画値が誤記であれば、発電計画内訳の計画値を修正して再提出

例) 発電所「9Z999」の
同時最大受電電力を
2,000[kW]と登録

【ポイント】

複数の事業者で同一の系統コード（発電所）をそれぞれの計画に記載している場合、系統コード毎に積上げた発電計画値と、マスター申請時に記入された同時最大受電電力とを比較チェックします。

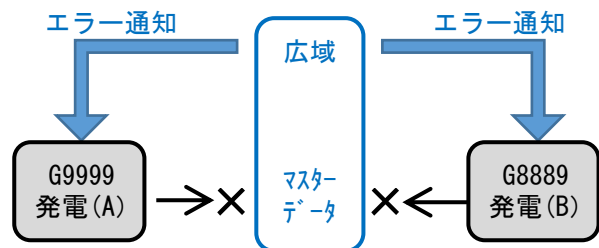
積上げた発電計画値が同時最大受電電力の値を超過していた場合、当該系統コードを記載している全ての発電計画にエラーを通知します。

【ポイント】

比較の単位にご注意ください。翌日計画の計画値は 30 分コマの[kWh]値であるのに対し、同時最大受電電力の設定値は[kW]値での登録となります。

(12) 発電計画内訳に「不整」がついた場合で、系統コードを誤記
(当該系統コードを記載した全てのファイルにエラー通知)

発電計画 内訳(A)			発電計画 内訳(B)		
BG/計画提出者	G9999		G8889		
系統コード	9Z989		9Z989		
発電所名▲	OCCTO発電所		広域ハ ^ワ 発電所		
時間帯	発電計画 (kWh)	変更▲	発電計画 (kWh)	変更▲	
0:00~0:30	1,000	不整	500	不整	
0:30~1:00	1,000	不整	500	不整	
1:00~1:30	1,000	不整	500	不整	



例) 発電所「9Z989」の
同時最大受電電力を
1,000[kW]と登録

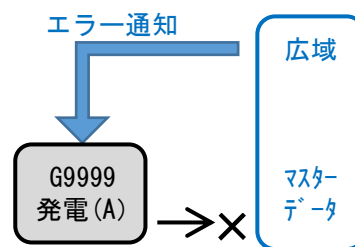
→系統コードが誤記であれば、系統コードを修正して再提出。

【ポイント】

系統コードの修正の際には、当初記載していた系統コードの発電計画値を全てゼロにして、追加で変更後の系統コードおよび発電計画値を入力し、再提出をお願いいたします。

(13) 発電計画内訳に「不整」がついた場合で、発電所マスター登録時に同時最大受電電力を誤入力
(当該系統コードを記載した全てのファイルにエラー通知)

発電計画 内訳(A)		
BG/計画提出者	G9999	
系統コード	9Z999	
発電所名▲	OCCTO発電所	
時間帯	発電計画 (kWh)	変更▲
0:00~0:30	1,000	不整
0:30~1:00	1,000	不整
1:00~1:30	1,000	不整



例) 発電所「9Z999」の
同時最大受電電力を
1,800[kW]と登録

→同時最大受電電力が誤入力であれば、
発電所マスターの修正を申請。

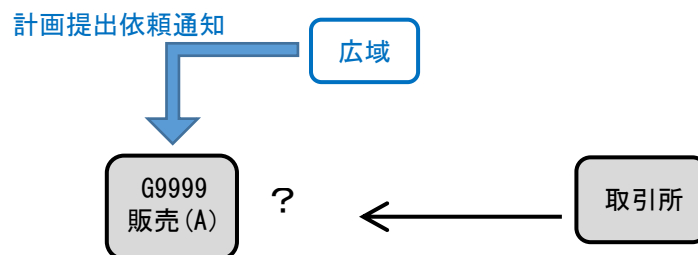
4. 3. その他メールの場合

メール名	不整合通知 XML	理由	項番
計画提出依頼 (JEPX 約定分)	(なし)	・市場取引を行ったにもかかわらず、当該内容を記載した計画が提出されていない場合	(1)
地内送電不可通知	発電計画内訳の「変更」に「不整」を表示	・一般送配電事業者において地内潮流制約を確認した結果、地内送電不可となった場合	(2)

(1) 販売計画・調達計画と市場取引間の不整合の場合で、

A が市場取引の計画を提出しない (A に計画提出依頼通知)

販売計画 販売(A)		
BG/計画提出者	G9999	
取引先コード		
取引先名▲		
時間帯	販売計画 (確定)(kWh)	変更▲
0:00~0:30		
0:30~1:00		
1:00~1:30		



【ポイント】

今までは、「市場取引において、約定したにもかかわらず、約定結果を提出しない」場合は、不整合結果通知 XML は提供するが、入力支援ツールでは「不整」は表示されませんでした。今回より、このような場合は上記のように計画提出依頼という通知をお送りするように広域機関システムを改修しました。

(2) 一般送配電事業者において地内潮流制約を確認した結果、地内送電不可となった場合

(地内送電不可となった系統コードを記載したファイルにエラー通知)

一般送配電事業者にご確認ください。

発電計画 内訳(A)			発電計画 内訳(B)		
BG/計画提出者	G9999		G8889		
系統コード	9Z999		9Z989		
発電所名▲	OCCTO 発電所		広域パワー発電所		
時間帯	発電計画 (kWh)	変更▲	時間帯	発電計画 (kWh)	変更▲
0:00~0:30	1,000	不整	0:00~0:30	500	不整
0:30~1:00	1,000	不整	0:30~1:00	500	不整
1:00~1:30	1,000	不整	1:00~1:30	500	不整

